

# こどもまんなかアクション の取組について

2025.11.28

こども家庭庁 成育局  
成育環境課長 安里賀奈子

こどもまんなか  
こども家庭庁

## 「こどもまんなかアクション」の展開

### 1. 趣旨

こどもや子育て中の方々が気兼ねなく様々な制度やサービスを利用できるよう、地域社会、企業など様々な場で、こどもや子育て中の方々を応援するといった社会全体の意識を変えていくことを目的として行う。

### 2. これまでの取組

令和5年5月 「こどもまんなか応援センター」がスタート  
「こどもまんなかアクション」始動  
「こどもまんなかアクション公式LINE」スタート 現在お友だち6.4万人超  
「リレーションポジウム」各地で開催  
(令和6年度までに全国29か所、7年度も18か所程度開催予定)

5月 「春のこどもまんなか月間」  
11月 「秋のこどもまんなか月間」  
夏休み期を中心に応援センターと連携した取組などを実施。

40道府県、337市区町村および3043の団体・企業・個人が  
こどもまんなか応援センター参加。

(令和7年6月9日現在)

# 広がっています！こどもまんなか応援センター

40道府県 337市区町村含む 企業・団体・個人の参加3043に拡大中 ※6月9日現在

神奈川県

滋賀県

大垣市

日本生命

ユニ・チャーム

江崎グリコ



ママの働き方応援隊

一人の男子生徒さんが  
お母さんに  
質問をしました。

「女性専用車両はあるのに、  
どうして  
赤ちゃん専用車両は  
ないんだろう」



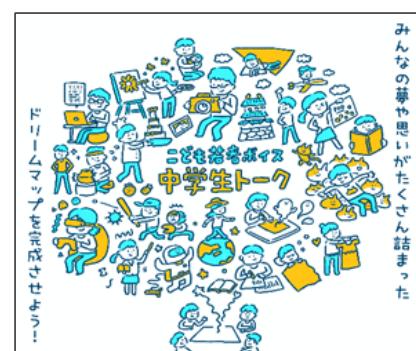
岐阜県理学療法士会こども福祉部



高校生が教える無料学習塾  
NEW STEP (菊池市)



長浜こどもまんなか



#こどもまんなかやってみた

## 「こどもまんなかアクション」リレーシンポジウム の開催

こども・子育てにやさしい地域づくりのために、自治体を主体としたシンポジウムを全国で開催。

◆R6年度開催実績 18自治体

山形県、前橋市、北九州市、青森県、滋賀県、鹿児島市、新潟県、佐倉市、取手市、大田区、京都市、仙台市、鳥取県、浜松市、羽咋市、吳市、熊本県、豊中市

# 「こどもまんなかアクション」リレーシンボジウムin仙台 つながりあおう！みんなで語りあおう！が開催されました。

「連携・協働」と「世代を超えた交流・居場所づくり」をテーマに、令和6年12月21日（土）に「『こどもまんなかアクション』リレーシンボジウムin仙台つながりあおう！みんなで語りあおう！」が開催されました。仙台こども財団の湯浅理事長からは開会式実施の「『ども・子育て支援団体の実態調査』を発表」。

さらに、複数のNPO法人による活動事例の紹介やこども家庭庁からの有益な情報発信に加え、参加者の車座となつてお互いの思いや考えについて意見交換をするグループワークも実施されました。

## 講演 「つながりあう・多世代交流～「こども・子育て支援団体の実態調査」を踏まえて～ (発表) 濑浅 誠（一般財団法人仙台こども財団 理事長）

こどもたちが企画・運営を担ったごく新しいやり方の様子。地元企業と共に取り組んだ男性育休の実践など、設立周年を迎えた同時に活動が紹介されました。また、こども・子育て支援団体の連携把握と連携・協働の促進を目的に実施した実態調査のデータも紹介（7月実施／財団HPで公開）。調査結果からは、世代を超えた交流・居場所づくりに取り組む団体が多いことが明らかとなり、そのような団体のみならず、企業・学校など、ますます連携を進め多世代が交流する機会や子どもの居場所づくりの重要性なども語られました。

世代を超えた地域交流が  
大切だと語る湯浅理事長

## 活動事例紹介

(発表) 小岩 孝子（NPO法人 FORYOU にこにこの家 理事長）、宮澤 花奈（NPO法人 ようどばんく東北 AGAIN プ雷代表理事）、  
安藤 千恵子（こども家庭庁 青少年局育児環境課課長）、こどもまんなかアクション推進室長)

地域福祉に取り組む「FORYOU にこにこの家」からは、防災事業の一環として、防災ゲームを通してこどもたちへの啓発活動や「かにっこ」と太鼓隊などと名付けられた太鼓隊コミュニケーションにて地元こどもたちとの交流劇が紹介されました。次いで発表した「ふうどばんく東北 AGAIN」は、企業や団体同士の連携構築や活動資金についてなど、フードバンク事業を実現するための具合を紹介。倫奨倉庫の確保などについても、地元企業の協力を得ながら、事業が拡大していると説明しました。最後に「こども家庭庁」から子育て支援の充実や施策が紹介されたとともに、地域団体と行政が連携を深めることで、ますます子育て支援の輪が広がっていくことを期待でき、国もそれを後押ししていると語られました。

活動報告では、地元を元気にする多様な取組を紹介

こども家庭庁は子育てを後援に合わせて支援する構造を解説

## グループワーク 「連携・協働」と「世代を超えた交流・居場所づくり」

参加者全員が5人程度のグループをつくり、自身が所属する団体の課題や取組、連携について話し合いました。地元企業や学校教員、地域ボランティア、こども食堂の運営者など、それぞれ違う視点からの意見が交わされ、最初はぎこちなかつた会話も最終盤には「もう少し話したい」と大盛り上がり。「田舎と都会での、子育て環境の違いを知れて有意だな」「学校の生徒の切実な想いをしっかりと受け止められた」との感想が寄せられました。当日は学生レポーターの畠山永由さんもグループワークに参加。熱気ある会場で飛び交う意見を興味深く聞いていました。

5人程度のグループで会話の機会が提供されました

### 【概要】

名称：「こどもまんなかアクション」

場所：仙臺市総合公園（宮城県仙台市青葉区）内宮迫遊無青葉山公園）／日程：令和6年12月21日（土）

「こどもまんなかアクション」リレーシンボジウムin大田区

2024年12月15日開催  
会場：大田区民ホール・アプロコ地下1階

**◆こどもまんなか応援センター宣言**

シングポジウム出席者の横澤夏子さん、関東学院大学の山谷教授、こども家庭虐待の高齢者虐待、刃木区長、さらには包括連携協定を締結する大田区、区内の子どもたちがこそ「こどもまんか」で社会に新しい笑顔をもたらすことを宣言する！

**◆横澤夏子さんによる特別講演**  
「みんながハッピーになれる子育てとは—

STEP 01 怒りや不快感	STEP 02 甘えることでも大差	STEP 03 自分の気泡を大切に
----------------------	-------------------------	-------------------------

三つの母のアドバイスとして活躍する横澤夏子さんは、よく「特別利用では、「(まっちゃん流)子育て論」として、みんながハッピーになれる子育て論」として、横澤夏子さんでは、「日々の子育て論として、さまざまな形で語っています。母としてのまま生きていくこと、子育てのまま生きていくこと、そして、自分たちのまま生きていくこと、これが「(まっせい)」ではなく、「まっせい」という言葉を紹介。横澤夏子さんは「(まっせい)」は必ずしも希望を持った、第一子を育てるお加産も多くられる中、欲みと抱え込んで前に進むの手帳を広めたり、甘えていいといふ言葉を何度も伝えた。例によると、子育てをする自分が実感していることが一番大切だと強調した。

**◆パネルディスカッション～仕事と子育ての両立～**

パネルディスカッションでは、区内における就業率や賃料口を5箇所も含むあることや、より子育て家庭にとって充実した大田区に向かう今後の取り組みについて区長から語られた。大田区の歴史や文化的な魅力をさらに広め、持続可能な地域コミュニティを構築するため、各分野の両立的な取り組み、一人の「祖父母」「母」としての役割からラジオスカッショングが絆に広げられた。

**◆参加者の声**

大田区のホームページからシンジケーションを知った。  
自分から行かないで情報を得る機会がなかなかないから参考にして良かった。  
子どもは母親が抱いていた心が加強されました。

30代女性

30代男性

「(概要)  
「こどもまんなかアクション」リレーシンボジウムin大田区

主催：東京都大田区 共催：こども家庭実習生レポーター：立教大学 石川

### (学生レポーターによるレポート)

◆R7年度も  
全国18か所程度  
の開催を予定

# こども・子育てを応援する人をふやしていきたい！ こどもまんなかアクション

こどもまんなか応援センターの取組好事例を庁のホームページや  
アクション公式LINEで紹介。参加の輪を広げています。

## ホームページ掲載例

【子どものアイデアでつくる遊び場 ようかいスタンプラリー】 岩手県立児童館いわて子どもの森

掲載日：2025年1月24日  
実施地域：岩手県二戸郡



### ■取組概要

いわて子どもの森には、『ようかいスタンプラリー』という遊びがあります。2006年の開始から18年が経った今も大人気。広い建物の中に隠れているスタンプ10個を探すシンプルな遊びにも関わらず人気の秘密は…

スタンプの絵柄である妖怪は、子どもたちが考えたオリジナルキャラクターなんです。お茶目で憎めない、ダジャレのきいたユーモアたっぷりの妖怪たちは、3年ごとにリニューアルしています。今年度は岩手県内・外から1,423通の応募があり、館内・WEB投票で選ばれた10匹がスタンプに

した！

すでに次のリニューアルに向けて新しい妖怪を考えていることもや、子ども時代の「推し妖怪」を教えてくれる大人もいるほどで、この先もそうです。



## LINE配信イメージ

【プレジデント・セブンティーンとこども家庭庁のタイアップ記事公開中】  
プレジデントでは、こども家庭庁がなぜ若者世代の施策に力を注ぐのか、セブンティーンでは、女子高生のみんなのやってみたいことについて、こども家庭庁と対談した内容をそれぞれ掲載しております、ぜひご覧ください。

【2月のこどもまんなかアクション最新事例】

【居場所づくり・こども食堂】  
◆りそなYOUTH BASE(埼玉県)  
◆地域開放型教室 まなび@R(滋賀県)

【こども・子育て応援】  
◆改札通過通知サービス(神奈川県)  
◆はぐかふえ(栃木県)  
◆ウェルカムベイビー事業(富山県)  
◆子育て支援情報の発信「ハピとみ」(群馬県)

【共働き・子育て】  
◆こどもも一緒に忘年会(鹿児島県)



# こども・子育てを応援する人をふやしていきたい！ こどもまんなかアクション

## 「こどもまんなかアクション」の取組例①

### 【空の旅 事前搭乗体験会】 JALグループ

掲載日：2025年4月25日

実施地域：全国



#### ■取組概要

JALグループでは、発達障がいのあるお子さまとご家族を対象に、飛行機利用に対する不安の解消を目的とした「事前搭乗体験会」を2022年より開催しています。

飛行機利用の流れに沿って、空港での搭乗手続きや、機内でのシートベルトの着用、ドリンクサービスやトイレを流す時の大きな音などを体験していただき、参加したお子さまからは、「飛行機に乗るのが楽しみになりました」というお声もいただきました。

事前搭乗体験会以外にも、搭乗の流れをご説明した「スカイちゃれんじ」という動画やパンフレットをホームページに掲載しています。

JALグループはこれからも、誰もが旅を通じて、より豊かな人生を楽しめる社会の実現を目指してまいります。



#### ■担当者コメント

事前搭乗体験会への参加やスカイちゃれんじ動画の視聴を通じ、「飛行機を利用する際の不安や緊張が減り、安心して利用できそうです」とのお声をいただいております。また、適切な対応ができるように社員の学びも深めて参ります。

## 「こどもまんなかアクション」の取組例②

### 【ANAそらばす教室】 全日空（ANA）

掲載日：2025年4月25日

実施地域：全国



#### ■取組概要

ANAグループでは修学旅行を控えた特別支援学校を対象にANAグループ社員が全国の学校に出向き、障がいの特性に応じた搭乗支援教室を実施しています。座学と疑似体験を通じて、搭乗手続きから保安検査、機内への搭乗、着席、降機の一連の流れを学ぶことができ、参加者の不安を解消し、安心して快適に飛行機を利用できるようサポートしています。

2019年の開始以来2024年までに約760名の生徒にご参加いただきました。

ANA公式ホームページには教室にて使用している「そらばすビデオ」、「そらばすブック」も掲載しておりますので各自のご家庭でも教材を元に学ぶことができます。



#### ■担当者コメント

始めは緊張されていた生徒が教室終了後は笑顔になっている姿が毎回印象的です。先生方からは「慣れた体育館で本番に近い体験ができ、見通しを持つことができた。」とポジティブな感想をいただいています。

# 「こどもまんなか応援センター」への参加ご案内（登録手続き等不要、自主参加の取組です）

【こどもまんなかの趣旨に賛同し、自らもアクションに取り組んでいただける個人、団体、企業、自治体などを「こどもまんなか応援センター」と呼んでいます】

- ① こどもまんなかの趣旨に賛同する。
- ② センターご自身が考える「こどもまんなか」なアクションを実行する。
- ③ ご自身・団体のアクションを発信したり、地域社会に広く参加を呼びかける。

## 「こどもまんなか」

こどもや若者の意見を聴き、その意見を尊重し、こどもや若者にとってよいことは何かを考え、自分ができるアクションを実践していきます。  
どんなこどものことも考えていきます。

SNS(X、Instagram、YouTube)で発信する際にぜひ、**#こどもまんなかやってみた**をつけて発信ください。  
こども家庭庁は「いいね」やホームページ・公式LINEでの事例紹介等でみなさまのアクションの見える化をサポートします。

応援センターのみなさまとはさまざまな連携を行っています。

◆「こどもまんなかマーク」  
を活用いただけます。  
(詳細はHPへ)

◆好事例を、  
府のホームページや公式LINEを  
活用してご紹介しています。



※こどもまんなかアクションに関する  
こども家庭庁ウェブサイトはこちら



◆こどもまんなか月間や夏休み期間には  
センターと連携した取組も行っています。

例：VIVISTOP博多  
こどもたちのプロジェクト「究極の映画館をつくろう」  
府職員が試写会・模擬記者会見に参加



こども  
まんなか